

2024年7月13日(土)、午後1時半。「れんげの会」総会 挨拶

皆さん、こんにちは。

ただいま紹介に預かりました、代表世話人の 森 といいます。

最近の国際情勢を見ると、ロシアによるウクライナ侵攻が収まらず、また、イスラエルのガザ攻撃が激しさを増して、今やパレスチナ人の大虐殺、ジェノサイドに転化しています。憲法第九条をもつ日本が果たすべき役割は、一刻も早くこれらの戦争を終わらせることではないでしょうか。

国内に目を転ずれば、7月7日の「東京都知事選挙」では、蓮舫候補が、自民党政治と小池都政を変えろという旗を掲げて、「トップダウンではなくボトムアップを」として、民主主義政治の根本を訴えました。また、同時に行われた「都議、補欠選挙」では、「市民と野党の共闘」が闘われました。これは、われわれの今後の闘いの方向を示すものになったと思います。

また、7月8日は、安倍晋三元首相が銃撃されて2年経ちますが、安倍政治がやったことは、戦後民主主義の根幹である立憲主義の破壊です。安倍政権の下では、「戦争する国作り」が進められました。2013年には「特定秘密保護法」、14年には、自衛隊の海外武力行使を可能にする閣議決定。その集大成が15年の「安保法制」です。

そして、17年には、「共謀罪法」を成立させました。

国民生活を巡っても、2度に渡る消費税の引き上げと社会保障の改悪です。経済面では、「異次元の金融緩和」で円安と株高を誘導し、輸出大企業の内部留保を増大させる一方、非正規雇用が40%を超えるという、労働者の実質賃金は、低下するばかりです。

円安は止まらず、物価は高騰し、国債残高が膨張して、異常な金融政策から抜け出せません。岸田政権は安倍政権の「戦争する国づくり」を具体化し、5年で43兆円もの大軍拡を押し進め、敵基地攻撃能力の保有など憲法違反の道を突き進んでいます。

アメリカ一辺倒と財界いいなりの自民党政治の行き詰まりは、金権腐敗の自民党の組織ぐるみの裏金問題に、象徴的に現れているのではないのでしょうか。

われわれは、これ以上、自民党に日本の政治の舵取りを任せておく訳には行きません。

今日は、第11回日本共産党尾西後援会「れんげの会」の総会ということで、渡辺さとしさんの市議会報告と10区の共闘候補の藤原のりまささん、そして衆議院比例東海の予定候補のすやま初美さんをお迎えして挨拶を頂きます。

最後までご静聴いただきますよう、お願いして私の挨拶といたします。
よろしくお願いします。

「団結がんばろう三唱」

1、「団結頑張ろう3唱」の前に一言お伝えします。

実は、今日、午後二時から、日本共産党田村智子委員長による「党創立102年の記念講演会」が行われています。われわれの総会と重なったため、見ることは出来なかったですが、党のホームページから視聴することが出来ますので、お帰りになられたら、是非、見て下さい。よろしくお願いします。 **それでは、「団結頑張ろう3唱」をお願いします。**

2、自民党の財界いいなり、アメリカいいなりの金権腐敗政治を一刻も早く終わらせ、今度の総選挙では、10区からは藤原のりまささんを、比例東海では、須山初美さんを是非とも国会に押し上げようではありませんか。

われわれは、総選挙に勝利するまで、団結して、頑張ろう。頑張ろう。頑張ろう。
ありがとうございました。